

Ethics in Sports 要旨

【調査目的】

オーストラリアスポーツにおける最も一般的且つ深刻な倫理(ethics)及び完全性や価値を脅かす問題を特定すること。

【対象】

※ 回答者が 12 か月以内に確認したことがある事実を対象とする。

| Role / level | National | State | Local | Total | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|-------|-------|
| Player | 179 | 182 | 536 | 897 | (24%) |
| Coach | 159 | 281 | 1205 | 1645 | (44%) |
| Official | 169 | 189 | 214 | 572 | (15%) |
| Administrator | 113 | 171 | 336 | 620 | (17%) |
| Total | 620 (17%) | 823 (22%) | 2291 (61%) | 3734 | |

【方法と時期】

ASC・Colmar Brunton Social Research 協働のオンライン調査

※2010 年に実施、最終レポートは 2011 年 4 月 10 日に公表

【調査結果】

各種問題は、主に 8 つの大きなカテゴリー（暴言・暴力、ルールに反する勝利、不平等・ハラスメント、反社会的行為や態度、ジュニア、選手の福利、役職、その他）に分類され、その中でも 全役割・競技レベルを横断して特定された主な倫理(ethics)、完全性(integrity)の問題は、以下の通りである。

| 問題 | 一般的 | 深刻度 | ASC が取組むべき 上位 5 項目 |
|--|--------|--------|-----------------------|
| A1 好ましくないコーチング方法や行為 選手への過度な強要 | 高 高 | 高 中 | ○ ○ |
| A2 暴言 ルールやフェアプレー精神に反する行為 | 中 中 | 中 中 | ○ ○ |
| B 好ましくない経営管理上の方法や行為 | 中 | 高 | ○ |
| C 体格差のある相手との練習（ジュニア） 選手同士の侮辱、挑発行為 | 高 高 | 低 低 | |
| D 好ましくないオフィシャルによる行為 より技術の高い相手との練習（ジュニア） | 低 低 | 低 低 | |
| E 八百長 競技力向上ドラッグ | 低 低 | 中 中 | |

➤ 参考資料 問題の詳細 (8つのカテゴリー)

| | |
|------------|----------------------------------|
| 暴言や暴力 | 言葉の暴力 |
| | 許容範囲を超えた身体的な暴力 |
| | 言葉、若しくは身体的な脅し |
| ルールに反する勝利 | 不正行為／ルール無視／違法な道具 |
| | ルールやフェアプレー精神に反する行為 |
| | 八百長 |
| | 競技力向上ドラッグの使用 |
| | 安全性や公平性に悪影響を与える科学やテクノロジー |
| | 血液ドーピング |
| | 遺伝子操作 |
| 不平等やハラスメント | 差別 |
| | ハラスメント |
| | いじめ (ネットいじめを含む) |
| | 侮辱や挑発行為 |
| 反社会的行為や態度 | 女性への否定的な態度 |
| | 男性への否定的な態度 |
| | 同性愛者への否定的な態度 |
| | 危険、若しくは潜在的に有害な性的行為 |
| | アルコールの乱用や悪用 |
| | 競技力向上でない違法ドラッグ |
| | 交通安全の問題 |
| ジュニア | 体格差のある相手との練習 (ジュニア) |
| | より技術の高い相手との練習 (ジュニア) |
| 選手の福利 | 怪我の状態、若しくは怪我のリスクを高める鎮痛剤を使用している練習 |
| | 指導者や両親からの選手への過度な強要 |
| | 重量制限や身体的特性を無理やり変えるための不健康且つ危険な行為 |
| | 精神衛生上の問題 |
| 役職 | 好ましくないコーチング方法や行為 |
| | 好ましくない経営管理上の方法や行為 |
| | 好ましくないオフィシャルによる行為 |
| その他 | 性別、参加者、若しくは大会に関する問題 |

資料 2

アメリカ (USOC) の取り組み

米国オリンピック委員会 (USOC) Safe Sport Program

2010年9月 「安全なトレーニング環境」ワーキンググループがUSOCディレクターボードに提言書を提出 Working Group for Safe Training Environments

2012年3月 USOCが「Safe Sport Program」を策定

- ・ スポーツにおける性的・身体的虐待に対処
- ・ 競技団体やスポーツ関連団体のガイドラインの調査
- ・ 選手、コーチ、スタッフ、競技団体、クラブ、スポーツ団体のニーズの評価
- ・ 選手の心身の健康状態促進のための提案